

要望事項	要望内容	回答
<b>輸送力増強</b>		
<b>1 輸送計画の改善</b>		
(1) 運転本数の増加	ダイヤ改正のたびに、運転本数の増加にご尽力いただいておりますが、運転間隔が30分以上に及ぶ時間帯がありますので、利用者の利便性向上のため、少なくとも20分未満間隔の運転を確保されるよう要望いたします。	中央線は速度の速い特急列車と速度の遅い各駅停車や貨物列車が混在して運転しているため、時間帯によっては特急列車の待ち合わせ等で、どうしても各駅停車の運転間隔が開いてしまう時間帯が発生しているのが現状です。運転間隔については、お客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
(2) 直通電車の増発	<p>相模湖駅、藤野駅は、東京・横浜方面への通勤・通学客が多く利用しておりますが、一部の列車が高尾駅止まりのため、利用者は乗換えが必要であるなど、不便をきたしております。</p> <p>これまでも直通電車の増発にご協力をいただいているところでありますが、朝夕の通勤・通学時間帯を中心に、上下線の高尾駅止まりの電車を直通電車にするとともに、増発されるよう要望いたします。</p> <p>参考 高尾駅到着 朝6時台3本中東京又は立川行きが2本 高尾駅到着 朝7時台6本中東京又は立川行きが4本 高尾駅到着 朝8時台3本中東京又は立川行きが1本</p>	中央線につきましては、ご利用しやすいダイヤ設定とすることを目的として、これまで高尾以西から新宿・東京方面への直通運転の拡大に取り組んでまいりました。特に朝通勤時間帯は、高尾に6時台と7時台に到着する上り列車9本の内、6本を東京までの直通列車とし、また夜のお帰りの時間帯につきましては高尾駅を19時台と20時台に発車する6本の下り列車全て中央快速線内からの直通列車(東京発5本、立川発1本)として利便性の向上を図っております。さらに、朝通勤時間帯の上り高尾止まり3本の列車につきましては、すべて同一ホームで中央快速線に乗り換えが可能な設定とするなど、よりご利用しやすいダイヤ設定に努めております。直通列車増発については、お客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
(3) 中央本線・横浜線の相互乗入れ	<p>市町合併による相模原市域の拡大等に伴い、旧相模原市域と相模湖駅、藤野駅方面とのアクセス性向上が求められております。</p> <p>しかし、中央本線及び横浜線を利用するためには、高尾駅、八王子駅での乗換えが必要であり、大変不便な状況となっております。</p> <p>また、リニア中央新幹線の神奈川県駅が「橋本駅付近」へ設置されることから、より利便性の高い広域交通網の整備に向け、中央本線及び横浜線の相互乗入れ運転を要望いたします。</p>	<p>横浜線と中央線の相互乗り入れにつきましては、直通することで中央線及び横浜線の現行の運行体系を大幅に変更する必要があり、相互の線区の列車本数や編成両数の違いなどから、列車ダイヤに及ぼす影響が大きくなることが予想されます。</p> <p>今後のリニア橋本駅開業や、需要動向を鑑み検討してまいります。</p>
(4) イベント開催時の臨時電車の運転	相模原市で毎年8月1日に開催される相模湖湖上祭(花火大会)には、横浜線方面からも大勢の来場者がありますので、こうしたイベント開催時には、横浜線から中央本線相模湖駅に直接乗り入れる臨時電車を運転されるよう要望いたします。	<p>平成27年の相模湖湖上祭(花火大会)開催時には、中央線の高尾～相模湖間に10両編成の車両を使用し上下各5本、高尾～大月間に下り1本の臨時列車を運転して輸送力の確保に努めました。</p> <p>横浜線と中央線を直通する臨時列車の運転については、使用する車両の違いや、八王子駅で中央線の上り線から横浜線方面に向かうときに中央線の下り線を横切らなければならない等解決すべき課題が多々ありますが設定に向けて、検討してまいります。</p>

要望事項		要望内容	回答
<b>利便性向上</b>			
<b>1 停車要望</b>			
(1)	特急電車の停車	相模原市相模湖・藤野地域は、四季を問わず美しい森と湖をメインに大自然の移り変わりを満喫できる、都心から最も近い観光の拠点となっております。 ついては、観光客の利便性向上と地域の発展のため、相模湖駅及び藤野駅に特急電車を、1日に上り下り各1本停車されるよう要望いたします。	中央線の特急列車は比較的長い距離をご利用するお客さまに対し、速達サービスを提供しているため、停車駅が増えることは速達サービスの低下につながることから、現在の輸送体系にご理解を賜りたいと存じます。 今後のご利用状況を見極めつつお客さまの全体的な利便性向上について検討してまいります。
<b>2 駅施設等の整備</b>			
(1)	相模湖駅の待合室の整備	相模湖駅は、東京・横浜方面への通勤・通学客が多く利用しており、一日平均の乗降客数も5千人を超える状況となっておりますが、中山間地であるため季節による寒暖の差が大きく、平均気温が5度を下回る月もあり、電車を待つ利用者に負担がかかっている状況となっております。 ついては、利用者の快適性の確保のために、駅構内への冷暖房機付き待合室を設置されるよう要望いたします。	待合室新設については計画的に取り組んでおります、今後のご利用状況を見極めつつお客さまの全体的な利便性向上について検討してまいります。
(2)	藤野駅ホームの屋根の増設	藤野駅は、平成4年度に、20mの屋根をホーム上に設置していただき、平成17年度には昇降設備設置にあわせ、昇降施設部分についても設置していただいたところですが、屋根延長が1両半程度であり、ホームの幅も狭いことから、降雨時等にはホームが大変混雑する状況となっております。 ついては、引き続き、ホーム屋根の延長増設に取り組まれるよう要望いたします。	ホームなどへの上家については、中長期的な計画として乗降人員などを勘案し、順次整備を進めております。
<b>その他</b>			
(1)	早朝時間帯における対応について	現在、相模湖駅・藤野駅では、早朝時間帯の運転時間において乗車駅証明書発行による発券対応となっており、駅職員による窓口対応や自動券売機による発券はされていない状況となっております。 ついては、駅利用者の安全性・利便性の向上及び防犯等の観点から、早朝時間帯における駅職員の窓口対応や自動発券機の稼働を実現されるよう要望いたします。	駅社員の配置等につきましては、お客さまのご利用状況等を勘案しまして現在の業務形態とさせていただいております。現在のところ従前の体制に戻す計画はございませんが、今後もお客さまのご利用の動向等を踏まえつつ検討してまいります。